

広
報

えちご上越

特 集

第6回 JA えちご上越
フォトコンテスト結果発表

10

2021
Vol.248



こころ耕し、いのち育む。



JAえちご上越

若い力を地域のために



上越市小猿屋 篠宮農場

(左から) ^{とも き}星野大樹さん(20) ^{なお き}篠宮直樹さん(26) ^{ひで き}篠宮英樹さん(53)



オペレーターとして慣れた様子で稲刈りを行う直樹さん。



「毎日が新鮮」と話す大樹さん。

上越市小猿屋で水稻を中心に、園芸との複合農業を営む篠宮農場。ここでは若い2人が日々奮闘しながら農業に携わっています。

篠宮直樹さんは農業大学校を卒業後、別の農業法人での研修を経て、平成28年に実家の篠宮農場の一員となりました。「就農当初は言われた作業をこなすことが精一杯でした」と振り返る直樹さん。今では農場の中心として作業を担当しています。「就農して6年目となり、仕事の流れや、段取りなどを理解してきました。天候に左右される農業は難しい部分もありますが、楽しさも分かってきました」と話します。

星野大樹さんは篠宮さんの親戚で、現在、県内の専門学校に通う学生です。子どもの頃から田植えや稲刈りなど、農作業を手伝ううちに農業に魅せられ、農家を目指すことを決めました。今年の5月から同農場で本格的に農業を学び、来春、篠宮農場に就職

します。「実際に農業に携わってみると大変なことも多いですが、とても楽しいです。毎日が新鮮で、日々勉強です。まだできる仕事も限られています。が、作業が上手くできるように考えながら取り組んでいます」と話します。

直樹さんの父で代表の英樹さんは、近い将来、直樹さんへ経営を委譲し、若い2人で農場を切り盛りして欲しいと考えています。また、担い手として年々増える地域の離農者の圃場を守ってほしいという思いもあります。

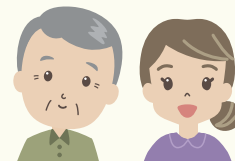
直樹さんは、「今後、農業の担い手として、自分たちが中心とならなければいけないという自覚があります。代表になれば責任も重大ですが、篠宮農場がいかに地域農業に貢献しているかを考え、地域を支えて行きたいと思います」と話します。

地域農業の未来を見据えながら、篠宮農場を背負っていく若い2人に地域の期待も高まっています。

経営 メモ	水稻	40%
	園芸	40% (トマト、マクワ、メロン、スイカ、トルコギキョウ、アスパラ菜)



JA大会とはどのようなもので、地域JAとどんな関わりがあるのでしょうか？



JAは自主性に基づく組織であり、方針や意思は組合員一人一人が積極的に参加して決定するものです。また、JAは農業と地域に根差した組織として、食や緑、さらには環境・文化・福祉を通して地域社会と共に歩む存在です。

多様な組合員の声を聞き、組織・事業・活動に対する評価やニーズを把握し、それぞれの願いを実現していくために、JAの組合員と役職員が共に力を合わせ、農業と地域の未来を拓くための取り組みを実践していくことが重要です。

JAグループでは、3年に1度、「JA全国大会」・「JA県大会」を開催し、これからの3年間に重点的に取り組む事項を、組合員およびJA役職員が確認・共有すると共に今後の目指す方向性などを決定しています。また、各JAではこれら大会の決議を踏まえて中期計画を策定し、取り組みを進めています。

JAグループ新潟でも、11月18日に「第39回 JA新潟県大会」の開催を予定しており、今大会のテーマを「組合員と歩む農業・地域・JAの未来づくり～10年後も組合員・地域を支え続けるJAを目指して～」と設定し、将来目指す姿として「持続可能な農業の実現」「豊かでくらしやすい地域づくりへの貢献」「不断の自己改革の実践を支える組織・経営基盤の強化」について提案します。その目指す



8月下旬にはJA県大会の開催を前に、県内の各JAと県中央会をリモートで繋いで地区別検討会を開催。組織協議案を確認したほか、各地域の情勢や考慮すべき課題について意見交換を行いました。

姿の実現に向けて全てのJAが取り組み、確実に成果をあげることが目的とした重点取り組み事項をまとめ、「第39回 JA新潟県大会組織協議案」として上程し、決議を目指します。

令和4年度からは当JAの「第7次中期3カ年計画」がスタートします。「第39回 JA新潟県大会」の決議を踏まえ、諸会議や集落座談会などを通じて組合員の皆さまと議論を重ね策定してまいりますので、よろしくお願いいたします。

役員会だより(主な協議事項)

第7回理事会(8月19日開催)

・令和3年産米仮渡金について

第8回理事会(8月27日開催)

・「不良債権」の処理方針(新規および変更)について
・出資口数の減少について

・諸規程等の変更について

Ⅰ. 購買代金決済要領

Ⅱ. 保護預り規程兼決済口座管理規程

Ⅲ. 投資信託総合取引規程

・貸出の承認について

・デイホーム三郷の送迎車両更新について

JA えちご上越の組合員

39,396人

(令和3年8月末現在)

正組合員 16,815人

准組合員 22,581人

●氏名・住所・電話番号・組合員資格に変更があった場合は、JAまでご連絡ください。

15	14	12	11	8	6	3	2	10	4
おたより広場	クロスワードパズル	JAからのお知らせ	直売所通信	営農情報	今月の話題	役員室から	F I A C E	元気もりもり教室募集 知って得する信用共済	特集 フォトコンテスト 結果発表

特 集

第6回 JA えちご上越

結果
発表

フォトコンテスト



テーマ

JA えちご上越の「食」「農」「地域」

地元の食や農業、農村風景、自然、伝統文化を見つめ直し、その魅力を広く伝承するため、フォトコンテストを実施しています。今年度は上越市・妙高市内から113点の応募がありました。ここでは、9月10日の審査会で決定した、最優秀賞を含む12点の入賞作品をご紹介します。



最優秀賞

「新雪の朝」長澤 滋子さん(中郷区松崎にて撮影)



優秀賞

「春日野の紅」

栗本 実さん(上越市大豆にて撮影)



優秀賞

「地元之光を」

西山 達生さん(牧区泉にて撮影)





入選「松ヶ峯の春」

柴田 勉さん
(中郷区松ヶ峯にて撮影)



入選「ふうきの花」

中嶋 耕さん
(上越市南新保にて撮影)



入選「灯火」

内山 勝彦さん
(大島区田麦にて撮影)



入選「紫陽花咲く正善寺ダム」

小日向 博幸さん
(上越市・正善寺ダムにて撮影)



入選「初夏の棚田」

宮内 尚幸さん
(浦川原区坪野にて撮影)



入選「棚田の田植え」

金子 和博さん
(牧区大月にて撮影)



入選「寒い朝」

倉俣 数磨さん
(妙高市五日市にて撮影)



入選「黄金の日溜り」

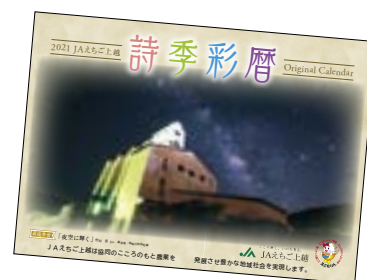
渡辺 章雄さん
(頸城区森本にて撮影)



入選「豊作」

新井 浩樹さん
(浦川原区坪野にて撮影)

入賞作品12点は、令和4年のJAオリジナルカレンダーに掲載させていただきます。
カレンダーは、12月上旬のふれあい訪問を通じて組合員のお宅にお届けするほか、
本店・支店・出張所の窓口にもご用意します。お手元に届くまでお待ちください。



※写真は令和3年のカレンダーです。



新米職員が育てた新米いよいよ収穫

農業実習で稲刈りに挑戦



先輩職員(左)に教わりながら、稲を刈る新採用職員(右)。

令和3年度の新採用職員10人は、4月から職員教育の一環として、牧区宮口で早生品種「つきあかり」の栽培に取り組んできました。

8月27日には稲刈りを行い、全員で交代しながらコンバインを操作し、20㍏の圃場で約1.6㍏の米を収穫。もみ米がいつぱいに詰まった袋をトラックに積み終えると、春から取り組んできた農業実習の成果に充実した表情を見せていました。

これまで新採用職員は月に1回程度、圃場に集まり、田植えや草刈り、中干し、防除などを経験。農作業の一連の流れを学びながら、自らの手で稲の世話を行ってきました。

新採用職員が育てた「つきあかり」は、あるんの杜レストラン「六花の里」で提供していますので、ぜひお召し上がりください。(無くなり次第終了です)

野菜の日になんで地場産野菜をPR

あるん畑 8月31日に軽トラック100円市開催



トラック市には多くの人が集まり、即完売となりました。

「8(ヤ)3(サ)1(イ)」の語呂合わせから8月31日は「野菜の日」に制定されています。あるん畑では地場産野菜の消費拡大をPRしようと、過去のイベントでも好評だった「軽トラック100円市」を行いました。

当日は荷台にトマトやナス、オクラなどを積んだ軽トラック2台がイベントスペースに登場。販売開始前から大勢の人が集まり、会場は大変にぎわいました。参加した人は、「野菜の日に限らず、地元の野菜を食べて生産者を応援したいと思います。あつという間に売り切れてしまったので、またトラック市を開催してほしいです」と話していました。

JA えちご上越の話題 ホームページやSNSでも発信中！



こころ耕し、いのち育む。
JAえちご上越
ホームページ

スマートフォン
からもご覧いただけ
ます！



**JAえちご上越の
Facebookはこちら▶**



上あおもり村 ホームページ
旬の情報が満載！
Facebookもあります

公式LINEはこちら▶ ID @tux9467b



NEW

営農情報がスマートフォンに届く！

LINE

JAえちご上越(営農部)

公式LINEはこちら▶ ID @618zoxpw



NEW

インスタ始めました！

Instagram

JAえちご上越 営農部【公式】

Instagramはこちら▶



JA カレンダーを飾る12作品を決定

第6回 JA フォトコンテスト審査会



甲乙つけがたい力作が並んだ審査会の様子。

9月10日に、今年度のフォトコンテスト審査会をJA本店で行いました。JA常勤役員7人のほか、JA新潟中央会と日本農業新聞が審査員として参加。会場に並べられた113点の作品を1枚ずつじっくり吟味して厳正な審査を行い、最優秀賞を含む入賞12作品を決定しました。入賞作品は今月号の特集(4・5頁)をご覧ください。

表彰式は10月中旬に行い、当日の様子は広報誌11月号でお知らせする予定です。





ブドウ棚の中で試験的に水を噴霧し、農業用無人車の精度を確認しました。

スマート農業で加工用ブドウの防除作業を効率化 妙高市の(農)坂口げんき農場で農業用無人車の実演会

妙高市坂口新田で9月1日に、農薬を自動散布する農業用無人車の実演会を行いました。(農)坂口げんき農場が管理する加工用ブドウの圃場で、農薬散布を想定して水を噴霧。生産者やJAなど約20人が見学し、機械の性能や作業精度を確認し、従来の有人で時間をかけて行っていたブドウ棚防除の負担軽減に期待を寄せていました。

同法人では、水稻と園芸の複合経営を実践し、6年前からはワイン用のブドウ栽培にも挑戦。ブドウ圃場は地区内に5カ所あり、作付面積は合計2.6㌥です。後藤正直代表は、「無人車による自動散布ができれば、体の負担もかなり軽減され、全体の作業効率が高まるはず。操作性やコストを見極め、導入について前向きに検討します」と話していました。



Point!

農家と連携して実演会を開き、作業負担の軽減や効率化、コスト低減などを実現する「スマート農業」の普及・拡大に取り組んでいます。

「求められるえちご上越米」をめざして つきあかり初検査&初出荷



運転手に花束を手渡す笹原会長。

吉川区の梶検査場で、例年より1週間程早い8月25日に令和3年産米の初検査を行いました。上越市内の生産者が出荷した「つきあかり」で、フレコンバック15本と紙袋30袋、合計16.2㌥を検査。検査員が水分量や粒の状態を確かめて等級をつけました。

その後、検査した米が早速トラックに積み込まれ、初出荷のセレモニーも行いました。セレモニーでは笹原会長が「安全運転で無事に実需者の元に届けてください」という言葉とともに、運転手に花束を手渡しました。出荷された米は県内の業者のもとで精米された後、関東の量販店などの店頭で早場米として8月末から並んでいます。



Point!

えちご上越米の販路拡大のために、取引先からの需要を的確にとらえ、需要に応えるための販売戦略を実行していきます。

もち麦の栽培で農業所得増大へ もち麦「はねうまもち」の初検査



粒の形や大きさなど、入念に確認する検査員。

8月24日に、上越市谷浜地区や直江津地区で栽培された、もち麦「はねうまもち」の検査を、直江津地区の福橋倉庫で行いました。倉庫には約6.3㌥の麦が運ばれ、粒の形や実の充実具合、水分量などを確認。検査の結果は全量2等でした。

「はねうまもち」は近年、健康食品として注目を浴びています。JAでは、需要が高まっている「はねうまもち」の生産を拡大して、農業所得の増大につなげようと、令和元年度から試験栽培を開始。今後も技術研究を進め、栽培適正を検証していきます。



Point!

JAでは農業所得の増大を目指し、地域の栽培環境に適した品種・品目を農家とともに研究しています。

令和3年度農政広報資金について

毎年度、対象組合員の皆さまから拠出いただく農政広報資金拠出金などにより造成された資金は、さまざまな農政活動で活用されています。令和3年度の取り組みおよび収支予算についてお知らせします。

◆ 令和3年度の取り組み事項

○ 農政対策本部委員会の開催

水田農業対策、県施策・予算対策等の農政課題について検討するために、適宜開催します。

○ 基本政策の確立対策

国や県等に対して、農政諸課題について要請活動等を通じた政策要望を行います。

○ 新型コロナウイルス対策

本県農業・農業者の実情に即した政策要望等、必要な取り組みを進めます。

○ 水田農業対策

米の大幅な需給緩和と米価下落が懸念される中、JA全中と連携し今後の水田農業対策のあるべき姿等の検討や政策要望等、必要な取り組みを進めます。また、JAグループ新潟・新潟米基本戦略を踏まえ、マーケットインの取り組みに基づく新潟米の販売力の強化、高品質・良食味米生産対策、需要に応じた生産と水田フル活用対策、生産者に対するきめ細かい情報提供、JAグループへの出荷結集に取り組みます。

○ 米消費拡大対策

米の消費減少が米政策に大きく影響していることから、米消費拡大推進協議会と連携した広報活動・各種イベント等を通じて、各年代層に応じた米を中心とした日本型食生活の普及・

定着に取り組むとともに、次世代の食習慣形成に重要な役割を果たす米飯学校給食等助成(米飯・米粉パン・米粉麺)を行います。

○ 園芸畜産対策

園芸・畜産振興に向けて、県農業施策・予算への要望や全国段階と連携した政策提案とその実現に取り組みます。

○ 国際貿易交渉対策

将来を展望できる息の長い政策の確立や、交渉内容の情報開示等を政府等に求めるとともに、県民各層への理解促進、広範な団体と連携等による合意形成に取り組みます。

○ JA自己改革対策

自己改革の取り組みを進めるとともに、規制改革推進会議の動向を踏まえた全国等と連携した政府への働きかけ等、必要な取り組みを進めます。

○ 対外広報活動

JA総合事業に対する県民理解醸成や自己改革実践に係る情報発信強化等、対外広報活動を展開します。

○ その他

地域農政等に関するJA段階の活動支援(JA活動費の交付)等を行います。

◆ 農政広報資金 令和3年度収支予算(令和3年4月から令和4年3月)

(単位:千円)

項 目		予算額	内 容
収 入	拠出金	50,696	JA拠出金(生産者負担金等)、県連拠出金
	負担金	20,809	JA負担金、県連負担金
	繰越金	8,952	前年度繰越金
	雑収入	0	
収 入 合 計		80,459	

項 目		予算額	内 容
支 出	大会集会費	1,000	全国段階・県段階集会、他
	特別対策費	5,000	新型コロナウイルス対策、他
	運営費	800	農政本部委員会、各種検討委員会、他
	対外広報対策費	32,000	JAグループ統一広報事業助成
	米飯給食促進費	3,400	米飯学校給食用米穀・米粉パン・麺助成、他
	政策価格対策費	11,293	米政策対策、国際貿易交渉対策、日本農業新聞特集号、他
	中央拠出金	14,011	全中農政広報対策資金拠出金
	組織活動費	12,254	
	(1) JA活動費	5,754	地域農政等に関する活動支援
	(2) 負担金・分担金	6,500	北陸四県農政本部、米消費拡大協、JA県青連・JA女性協
	事務費	700	事務委託費、他
	雑費	0	
支 出 合 計		80,459	

※単位未満切り捨て表示のため合計額が一致しない部分があります。

◆ JAえちご上越 令和3年度農政広報資金拠出金の拠出基準

対象者:水田耕作面積10㌥以上の正組合員 対象面積:水田耕作面積(但し、上限は1,500㌥)

拠出単価:対象面積1㌥あたり5.7円

チェーンソー資格取得講習会 開催のお知らせ

チェーンソーによる事故を防ぐため、資格取得講習会を開催します。受講者には労働安全衛生法にもとづく「特別教育修了証」が交付されます。詳しい内容については、JA えちご上越のホームページに掲載しています。

- 講習内容 ①伐木等作業に関する知識(学科)、②振動障害およびその予防に関する知識(学科)、③チェーンソーの操作・伐木等の方法(実技)など、計3日間

- 会場 有田支店 2階会議室
(上越市春日新田5-3-30)

- 受講料 22,000円(※当日お支払いいただきます)

- 定員 20人(※先着順)

- 申込締切 11月10日(水)

- 日時・講習内容

1日目	11月24日(水)	午前8時50分～午後4時30分	学科
2日目	11月25日(木)	午前8時30分～午後5時	学科・実技
3日目	11月26日(金)	午前8時30分～午後3時	実技

お問い合わせ先 農業対策課・経営サポート(TEL:025-527-2035)

土壌診断(分析)の受付について

土壌中の不足している養分と過剰な養分を把握する「土壌診断」に基づいた適正な施肥で、収量の安定化とコスト低減に取り組みましょう。

- 受付期間 通年

※受付順に分析をJA全農に依頼します。例年、10月～12月は大変混雑し、分析結果が出るまで時間を要します。早めに土壌サンプルを準備してお申し込みいただくか、時期をずらしてお申し込みください。また、混雑時期以外でも分析結果通知に1カ月以上かかることがあります。採取方法については、営農センターにご確認ください。

- 提出先 最寄りの営農センター、資材店舗、支店

- 分析料金 無料

バランスの良い土づくりで生産コスト低減を目指しましょう。



お問い合わせ先 最寄りの営農センター、または農業対策課(TEL:025-527-2050)

お知らせ

消費税【インボイス制度】

令和3年10月1日から登録申請書の受付が始まります

■インボイス制度ってなに？

- ・売手である登録事業者は、買手である取引相手(課税事業者)から求められたときは、インボイスを交付しなければなりません。また、交付したインボイスの写しを保存しておく必要があります。
- ・買手は仕入税額控除の適用を受けるために、原則として、取引相手(売手)である登録事業者から交付を受けたインボイスの保存などが必要となります。

制度導入までのスケジュール

登録申請書は、
令和3年10月1日から提出が可能です。

令和3年10月1日

令和5年10月1日から登録を受けるためには、原則として、
令和5年3月31日までに登録申請書を提出する必要があります。

令和5年3月31日

令和5年10月1日

登録申請書の受付開始

インボイス制度の導入

登録事業者になろうとする事業者の方は「適格請求書発行事業者の登録申請書(登録申請書)」の提出が必要です。登録申請書提出後、税務署から登録番号などの通知が行われます。

■インボイス制度に関するお問い合わせ先

一般的なご相談は、専用ダイヤル(無料)で受け付けています。

【専用ダイヤル】0120-205-553(受付時間:午前9時～午後5時まで、但し土・日・祝日を除く)

詳しくは、国税庁ホームページのインボイス制度特設サイトをご覧ください。



「JA元気もりもり教室」のご案内

組合員とご家族の皆さまの健康づくりを目的に、「JA元気もりもり教室」を開催します。Withコロナの時代だからこそ、「今、できること」を考えてみませんか？

No.	日 時	会 場	講座内容	参加費
1	11月22日(月)午後1時30分～	JA本店 別館4階	フレイル(※)予防教室 ～継続して出来る身体活動・運動等 講師:けいなん総合病院 リハビリテーション科 理学療法士 江口技師長	無 料
2	【女性限定の日】 11月29日(月)午後1時30分～	JA本店 別館4階	今日から始める「筋活」 ～身体と脳の健康のために～ 講師:けいなん総合病院 栄養科 小森主任管理栄養士	
3	【男性限定の日】 12月6日(月)午後1時30分～			

(※加齢により心身が衰えた状態のこと)

■定 員:各回15名(応募者多数の場合は抽選) ■締め切り:11月1日(月)

■申し込み方法:電話またはFAXで、「住所・氏名・電話番号・希望する日にち」が分かるようにお申し込みください。

■その他:参加者には締め切り後、案内文書をお届けします。

【新型コロナウイルス感染対策について】



- ・発熱や咳、風邪の症状があるなど、体調のすぐれない方は参加をご遠慮ください。
- ・3密を防ぐため、人数を制限しています。
- ・新型コロナウイルスの感染状況により、開催を中止する場合があります。

■お問い合わせ先:地域ふれあい課(TEL:025-527-2030 FAX:025-527-2039)



JA えちご上越 合併20周年記念キャンペーン

知って **得** する **信用・共済**

JA ネットバンク 契約キャンペーン

令和3年10月1日～12月31日の3カ月限定

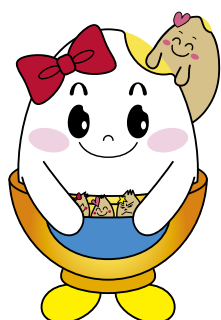
期間内に JA ネットバンクに加入し、キャンペーンに応募すると…

JA 総合ポイント

2,000ポイント (2,000円相当)

先着600名さまにもれなくプレゼント!

※キャンペーンの応募は、JA えちご上越ホームページまたは、金融窓口を設置している応募用紙から可能です。



10/9^土・10^日

上越あるん村

収穫感謝セール

栗、ブドウ、
イチジクなど
秋の味覚がどっさり！旬を楽しむイベントを
ご用意してお待ちしています

- ・地場産果物セットや海の幸などが
当たるガラポン抽選会
- ・長野県のリンゴ特価販売

JA-SS 合同企画

両日1,000円(税込)以上お買い物された方に
ガソリン・軽油

3円／リットル 割引券 プレゼント！

※配布数には限りがございます。割引券は10月31日まで何回でもご利用いただけます。配達是对象外となりますので、予めご了承ください。



新米 販売中！ ～地場産の新米を味わいませんか？～



いまず
今摺り米コーナーでは、玄米を1kgから販売し、無料の精米サービスも行っています。一分から上白精米まで好みの精米歩合をお選びください。サービスカウンターでは発送も承ります。

あるん村



Shiori亭のお弁当が新米に！レストラン「六花の里」では、JA新採用職員が育てた「新米の新米(つきあかり)」が登場します。

あるん村 ハロウィンスイーツ
今年も登場

1ホール2,800円
1カット360円

毎年大人気のハロウィンタルトが登場！
地場産のカボチャを使用した濃厚なクリームと、サクサクのタルトは相性抜群です。

好評販売中！

シャインマスカットタルト



あるん村・浦川原物産館

出荷会員
大募集

愛情を込めて育てた農産物を販売してみませんか？まずはご相談ください。

代表連絡先

あるん畑 (TEL:025-525-1183)

浦川原物産館 おすすめ品



店内で1個ずつ丁寧に製造
「手づくりおやき」

10月4日から店内製造を再開します。味は「野沢菜」と「あんこ」の2種類。毎週、月・金曜日は出来立てが店内に並びます。

※冷凍品は1個110円で常時販売しています。

1個135円



新米を使った弁当や栗おこわ、赤飯などが登場。物産館一押しです。

掲載内容に関するお問い合わせ先 上越あるん村(代表TEL:025-525-1183)、浦川原物産館(TEL:025-599-2387)

※表示価格は全て税込です。

昨年の振り返りや翌年の計画づくりに便利 3年連続日記のご案内

3年連続日記 令和4・5・6年版

3年間の記録が一目でわかる!!

3年連続日記 10月1日発売 定価 **4,400円**

36ヵ月日記 10月1日発売 定価 **2,970円**

栽培記録ノート(全3種) 10月1日発売 定価 **1,100円**

■お申し込み先 お近くの資材店舗まで

コンビニ等ATM利用時の手数料および 優遇プログラムの変更について

■ コンビニ等ATM利用時の手数料の変更について

令和4年4月からコンビニ等ATMの利用時の手数料を次のとおり変更いたします。

	現行(～令和4年3月)		変更後(令和4年4月～)	
	平日 8:45～18:00	それ以外	平日 8:45～18:00	それ以外
セブン銀行	無料	110円	110円	220円
ローソン銀行	無料	110円	110円	220円
イーネット	無料	110円	110円	220円
ゆうちょ銀行	無料	110円	110円	220円

※コンビニ等ATMにおいて、令和3年10月から手数料が変更になる旨のお知らせが表示(全国一律の表示)されますが、当JAの変更時期は令和4年4月からとなります。

■ 優遇プログラムの変更について

利用者のJA事業利用度に応じて、コンビニ等ATM利用時の手数料を優遇する(毎月最大3回まで無料にする)「優遇プログラム」において、令和3年10月から優遇方法を変更いたします。

以前(～令和3年9月30日)	変更後(令和3年10月1日～)
後日手数料分を口座に返金	取引時に手数料分を直接値引き(無料)

■お問い合わせ先

金融課(TEL025-527-2020)または各支店・出張所へ

人形・ぬいぐるみ供養祭を開催します

■日時 10月17日(日) 供養読経は午前10時～11時

■会場 虹のホールいなだ(上越市稲田4-5-15)

■供養料金 ・人形・ぬいぐるみ 1体につき500円(税込)

数量制限 一家族さま10体まで

・ひな人形 一式5,000円(税込)

※ガラスケース・せともの・ブリキなどの不燃物はお断りしています。

■人形受付 前々日:10月15日(金)午前9時～午後4時

前日:10月16日(土)午前9時～午後4時

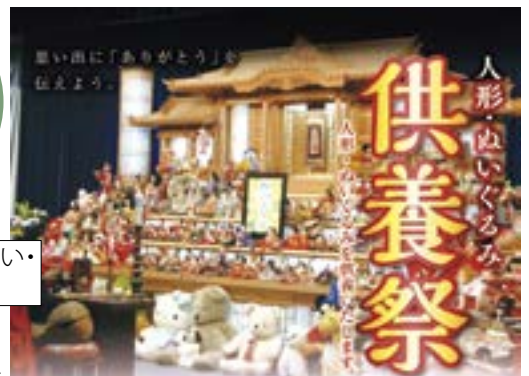
当日:10月17日(日)午前9時～9時45分

虹のホールいなだ・あらい・
なおえつ・おおがた
各ホールにて

虹のホールいなだのみ

■お問い合わせ先 JAセレモニーサービス(フリーアクセス:0120-971-959)

同時開催
葬儀・法要
相談会
午前9時～正午



お正月の食卓を華やかに JAの正月食品

年末年始に欠かせない餅や海産物、ハム、ミカンなど、JAが自信を持っておすすめする逸品をご賞味ください。商品カタログは、10月上旬のふれあい訪問などを通じてお届けします。

■お申し込み方法

11月上旬のふれあい訪問時にJA職員に申込書をお渡しいただくか、最寄りの支店にお持ちください。電話、またはFAXでもお申し込みいただけます。

■受付期間 令和3年10月1日(金)～11月5日(金)まで

■商品のお届けについて

正月食品の冷凍・冷蔵品については、JA指定の運送業者が配送します。※12月上旬から順次。

■お問い合わせ先 店舗生活課(TEL:025-530-7556、

FAX:025-526-3737)

JAの自動車共済なら24時間・365日の安心サポート

事故の場合はフリーダイヤル **0120-258-931** レッカーロードサービスはフリーダイヤル **0120-063-931**

平日の営業時間内(午前8時30分～午後5時)は、JAえちご上越までご一報ください。

農業用廃プラスチック回収のお知らせ

農業用廃プラスチックなどについて、下記の通り回収を行いますのでご確認ください。

回収日時と回収場所

回収日	回収場所	住 所	電話番号
11月5日(金)~6日(土) 8:30~15:00	中央資材店舗 わかば資材店舗	上越市藤巻5-26 上越市安塚区安塚2544	025-527-2000 025-592-3238
11月12日(金)~13日(土) 8:30~15:00	頸北資材店舗 頸南資材店舗	上越市頸城区百間町1029 妙高市高柳1-16-8	025-530-3120 0255-72-6503
11月19日(金)~20日(土) 8:30~15:00	はまなす資材店舗 三和資材店舗	上越市柿崎区柿崎3315-1 上越市三和区野832	025-536-2285 025-532-2315

回収品目と回収料金 育苗箱1枚、他は1kg当たり(税込)

品 目	農ポリ類	農ビ類	育苗箱	廃棄農薬	空容器	廃棄肥料	米紙袋
単 価	44円	66円	19円	192円	209円	192円	37円

※農薬…水銀剤・PCB・PCP・BHCなどについては別料金となります。

提出していただくもの

処理・運搬などの事務をJAに委託していただくため、委任状の提出をお願いいたします。「排出者の住所・氏名・電話番号・排出量など」を記入し、押印していただきますので、必ず印鑑をご持参ください。

なお、排出者が団体や法人の場合は、代表者名での記載・押印をお願いします。

委任状は各支店・営農センター・資材店舗に備え付けてあります。

梱包要領と注意事項

※可燃物・燃やさないもの、水濡れ・泥付き等は
お預けできません！

ビニール類

ハウスビニール
地シート

- 1梱包20kg以内とし、
また大きさも1m以内で梱包する。
- ポリ袋で梱包する(11号サイズ200×900mm)
- ハトメ・金具・ファスナーは取り外しておく。
- 水濡れ・泥付きのないようにする。



ポリエチレン類

ポリマルチ
農ポリ・肥料袋

- 1梱包20kg以内とし、
また大きさも1m以内で梱包する。
- ポリ袋で梱包する(11号サイズ200×900mm)
- 水濡れ・泥付きのないようにする。



水稻育苗箱

- 1梱包10枚とする。
- 農ポリ袋で梱包する(200×900mm)



農業空容器・廃棄農薬

- 1梱包20kg以内とする。
- 農業空容器と廃棄農薬は別々に梱包してください。
- ダンボール箱や透明なビニール袋に詰めて梱包してください。
- ※肥料袋等に入れたものはお預けできません。



上越市農業委員会からのお知らせ

農地の貸し借り・売買などの際は、農業委員・農地利用最適化推進委員へご相談ください

○農地についての窓口になります

「農地を貸したい、売りたい人」と「農地を借りたい、買いたい人」の間に立って調整します。

○担い手への農地の集積と集約を進めます

担当地域で、担い手へ農地を集め、耕作しやすいように集約を進めるなど、担い手を支援します。

○就農後は身近な相談相手となります

新規就農者のサポートチームの一員として、農地に関する相談などに応じ、経営が軌道に乗るよう支援します。

委員の連絡先は、下記事務局または区総合事務所内の駐在室へお問い合わせください。

旧上越市	農業委員会事務局 TEL: (025) 526-5111 (内線 2162、2163)	牧区	牧区駐在室	TEL: (025) 533-5141	中郷区	中郷区駐在室	TEL: (0255) 74-2411	
		柿崎区	柿崎区駐在室	TEL: (025) 536-6711	板倉区	板倉区駐在室	TEL: (0255) 78-5181	
安塚区	安塚区駐在室	TEL: (025) 592-2003	大潟区	大潟区駐在室	TEL: (025) 534-2111	清里区	清里区駐在室	TEL: (025) 528-3111
浦川原区	浦川原区駐在室	TEL: (025) 599-2302	頸城区	頸城区駐在室	TEL: (025) 530-2311	三和区	三和区駐在室	TEL: (025) 532-2323
大島区	大島区駐在室	TEL: (025) 594-3101	吉川区	吉川区駐在室	TEL: (025) 548-2311	名立区	名立区駐在室	TEL: (025) 537-2123



安心のネットワーク

NOSAI新潟 からののお知らせ 収入保険でリスクへの備えを

「収入保険」は、さまざまなリスクによる収入減少を補償します。青色申告を行っている農業者(個人・法人)が加入でき、農業者が自ら生産した農産物の販売収入の9割を下回った場合に、下回った額の最高9割が補填されます。

保険期間は1月(法人は事業年度開始月)から1年間です。現在、令和4年の加入申請を受付中です。農業者(個人)のお申し込みの期限は12月末までです。

自然災害の頻発やコロナ禍の長期化に伴い、加入者が増えています。この機会にぜひご検討ください。

お問い合わせ先

NOSAI新潟 上越支所 収入保険課(TEL:025-525-1130)



山羊座

12.22 ~ 1.19

【全体運】努力が空回りしがち。うまくいかないときは根本からやり方を見直してみる必要がありそう。下旬以降は好転の兆し

【健康運】オーバーワークに気を付けて。休息も大切 【幸運の食べ物】柿

- タテのカギ
- ② 押し入れの上に作られた物入れ
⑤ 青物——へ野菜を卸しに行った
⑦ 祝い事に付きものの魚
⑧ とても小さな滴が降ってきます
⑩ 知識やひらめきを駆使して解きます
⑫ 感謝の——を込めて花束を贈った
⑭ つらいことが続くとこぼしたくなることも
⑯ 船の積み荷を地上に移すこと
⑰ 能ある——は爪を隠す
⑳ サツマイモには食物——が豊富に含まれます
㉑ 陰暦10月の異称

ヨコのカギ

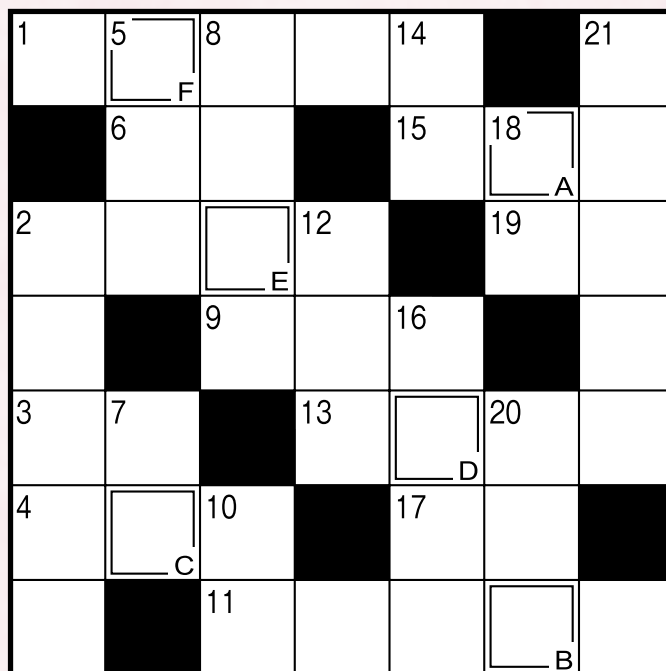
- ① 野山の散策を楽しむレジャー
② 鶏肉の部位の一つ。羽の一部です
③ イノシシを家畜化したもの
④ 沖縄にいる飛べない鳥、ヤンバル——
⑥ 南米にある南北に細長い国
⑨ 定規に刻まれているもの
⑪ アイボリーとも呼ばれる淡い黄白色
⑬ スマートフォンにはさまざまなデータが——されています
⑮ 軽くて硬い金属。元素記号はTi
⑰ ギョーザや中華まんの中身をこう呼ぶことも
⑲ 漢字から作られました

?

クロスワードパズル

出題:ニコリ

二重マスの文字をA～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか?



答え

A	B	C	D	E	F

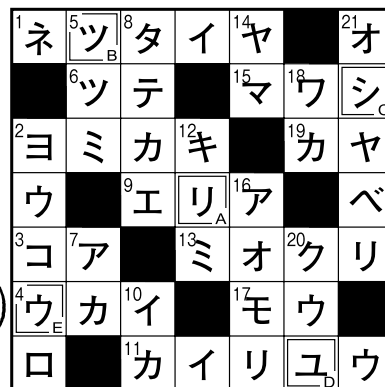
8月号の答え

答え

「リツシュウ」

(立秋)

応募総数は
115通でした。



広報担当のつぶやき

9月、10月は広報担当としての仕事、米倉庫の人足としての仕事、米の検査員としての仕事とマルチに活動しています。

JAに入組してから秋になると毎年思うのは、この時期が一番活気づくような気がします。春からの農作業の結果が出る収穫の秋。活気づかないわけはないですよ!



(金・洋)

今月のプレゼント

令和3年度の新採用職員10人が丹精込めて育てました!

「新米の新米」(つきあかり)2^{kg} × 10名さま

当JAでは令和元年度からの試みとして、毎年、新採用職員が米づくりに挑戦しています。令和3年度の新採用職員10人も、田植えから稲刈りまで一連の作業を通じて、作物を育てる苦労や収穫の喜びを実感。新米職員が大切に育てた新米「つきあかり」を地域の皆さんからも食べていただけるよう、プレゼントとしてご用意しました。

オリジナルラベルを
つけてお届けします!



※写真はイメージです。



おたより広場

今月のテーマ

【毎年恒例】コレさえあれば何杯でも！

私のごはんのお供!!

私の好きなごはんのお供は、キュウリの佃煮です。甘じょっぱく煮たキュウリがごはんに合う！食感も最高です。

(清里区 F・Aさん)

私のごはんのお供は、「のりたま」です。ふりかけと言えは「のりたま」です。創業者が新潟県人と聞いて益々ファンです。

(板倉区 K・Tさん)

温かいごはんの真ん中にくぼみをつくります。その中に生卵を落とします。その上に「ごま昆布」をのせます。少しずつくずしながらいだきます。めちゃうくちや美味しいです。

(柿崎区 F・Kさん)

新米に「辛子めんたいこ」。2杯まではいきませんが美味しいです。

す。(中郷区 B・Sさん)

私のごはんのお供は、昔からイカの塩辛が好きでいつも食べています。(頸城区 A・Sさん)

ごはんのお供は、やはり「なめたけ」です。あのとろっとして旨みのある味わいが好きです。ごはんが止まりませーん！

(板倉区 S・Kさん)

さけフレークが大好き。そのままごはんにかけても、おにぎりにしてもおいしいですよ。

(柿崎区 S・Yさん)

ネギトロです。オクラも刻んでトロトロして、混ぜて食べるととてもおいしいです。孫も大好きです！

(上越市 K・Kさん)

自家製の味噌の「みそ汁」。具だくさんであればそれで良しです。

(頸城区 F・Tさん)

私のごはんのお供は季節ごとの漬け物です。

(頸城区 S・Mさん)

ごはんのお供といえばやっぱり納豆！韓国のお供を入れるととてもおいしくて、ごはん何杯でも食べられます。

(妙高市 M・Mさん)

「私のごはんのお供！」とは少しズレてしましますが・・・炊きたてごはんを塩おにぎりにしたものはいくつでも食べられます！

(上越市 H・Mさん)

私のごはんのお供は「上越米」です。お供は何でもいいです。どんなお供でもごはんが進みます！

(上越市 I・Hさん)

編

今月もたくさんのおたより、ありがとうございます。新米が出回り始めました。(金・洋)もごはん大好きです。炊きたての新米はお供なしで1杯。お供と1杯。お供を変えて1杯。つつい食べ過ぎてしまいます。



次号のテーマ

健康第一！

健康づくりに○○しています!!

パズルの答えと一緒に「おたより」もお待ちしています♪

テーマへのご意見や日々の出来事など何でもOK！絵手紙やイラスト、俳句などもお寄せください。応募された作品の返却はできませんので、ご了承ください。皆さまの投稿をお待ちしています。

※郵便料金の不足にご注意ください。通常はがきは63円です。

『①パズルの答え、②郵便番号・住所、③氏名、④年齢、⑤電話番号、⑥広報誌の感想、おたよりなど』を記入し、ハガキまたは封書にてご応募ください。正解者の中から抽選で、「新米の新米(つきあかり)2*」を10名さまにプレゼント！当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。

※ハガキまたは封書に基づく個人情報は賞品の発送、おたよりなどの掲載に利用します。

切手	〒943-0817	①パズルの答え ②郵便番号・住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥広報誌の感想、おたよりなど
	上越市藤巻5番30号	
JAえちご上越	30号	
広報クイズ係		



10月のうんまいレシピ

えちご上越 vol.248
2021年10月1日発行

編集／JAえちご上越 総務部企画課
〒943-0817 新潟県上越市藤巻5番30号
TEL (025) 527-2001 FAX (025) 527-2009
URL / https://www.ja-echigojoeitsu.or.jp



今月の料理当番

あるん畑の農家レストラン

ほっこり笑顔のお惣菜

おかげさま

上越市下正善寺地区では昔から、地元で生産されるサトイモと新米を使った「おはぎ」が親しまれてきました。皆さんも、ちょっと珍しい新米の時期だけの特別な郷土料理をぜひ試してみてください。

里芋おはぎ

材料(約15個分)

うるち米(新米) ……3合(約450g)
サトイモ ……………中3〜4個
あんこ・きな粉 ……………適量

作り方

- ① 皮をむいたサトイモは、つぶしやすい適当な大きさに切る。
- ② 米を研いで、釜に炊飯に必要な量の水と①のサトイモを入れて、10分ほど置いておく。
- ③ 通常と同じように炊飯スイッチを押して炊き上げる。
- ④ 炊き上がったら、サトイモとごはんをめん棒などでつきながら混ぜ合わせ、食べやすい大きさに丸める。
- ⑤ ④のごはんをあんこなどで包んだら完成。



④のつき加減の目安は、ごはんに粘りが出るくらいです。
ごはんを丸めたり、あんこで包むときは、ラップを使うと手が汚れません。

今月の食材

新米&サトイモ

稲刈りが進み、さまざまな品種の「新米」が並ぶ時期になりました。毎食、炊き立てのごはんを食べたいところですが、一度に2〜3日分をまとめて炊く場合は、熱々のうちにごはんをラップで包み、粗熱が取れたら冷凍で保存するのがおすすめです。

サトイモは、独特のぬめりを持つ、イモ類の中でも特に低カロリーな食材です。おしりの部分が固く締まり、縞模様が等間隔のものを選びましょう。洗ってあるものはなるべく早く使い切るように。乾燥と寒さに弱いので、新聞紙に包んで冷暗所で保存します。

